



二月六日夕刊

人は眞し惡だと信するこ
とを行ふものではなくまた
眞に善だと信すればそれを
行ふに相違ないとすれば先
づ吾等が行爲せんとする事
柄の善惡を決定することが
ソクラテス流の考としての
みでなく主たる重要性を持
つけれど物の善惡が物自體
の性質にあるとするならば
それは行然主體なる吾々に
關係なく、赤い色は赤い、
青い色は青いといつたやう

常盤論壇

帆足理一郎

に比較的容易に決定される
かも知れない、けれど善惡の觀念は價值判断に屬し、
判断されるものと判断され

それに貢献する事柄は凡て善であり、然らざるものはない。惡となすであらう。この見地に立てばたゞひ快樂を興

チクノール錠に限る
山野邊藥局
平町五丁目

外親戚一同

平町四丁目
會田時計店
電話三六三

彦に御通知申上候也
追て葬送の儀は二月七日午後一時自宅出棺
大寶寺に於て佛式を以つて執行可仕候
昭和三年二月四日

弟德一 義病氣中の處 一月廿日

ゼツタイ狂はない

昭和三年二月五日
外親戚一郎
川松太郎

平町二丁目(電一〇三三)

り候間此段辱知諸彦に御通知申上
候也

オーバー六七圓位ヨリ
其他變つたいろ／＼な冬の
洋服が澤山揃ひました

父與左衛門儀病氣中の處療養不相

いろいろな冬の洋服が
一価段は二割乃至一割安
立襟上下 捨圓位ヨリ

歯痛、神經痛、頭痛の特効薬
平町各薬店に販賣す

文具問屋
不林
商店

飲もこすぐキク
（電話二三七番）

圓御買上
御方には **金** 印特製醬油
金七十圓御買上には四升入
一樽進呈

クスノ特長
一度僕へハ永久ニ僕へ下サルノカ當店石炭ト
一
値安正十貫目 一俵 金六十五錢也

開業十週年 謝恩大賣出し

常製第一ノ船石炭ノ礦ノ在處
大炭礦ナル
ツコトノ特長ニ、品質ノ優良
三、配達ノ迅速

全縣下に亘る政界の動向 普選戦愈々實戰に入る

一區民政は未だ生みの惱み

各候補普選史の第一頁へ

し選舉は決して樂觀を許さないから政友派としても公認六名の當選を期するには大なる努力を致さなければならぬ

烈々激戦へ

第三區の政戰

各區を通じて最も混戰なのは三區である、定員三名に對し倍數の六氏が出馬し言論戦に移つて居る即ち

松本孫右衛門氏（元政）
木村清治氏（新政）
山田忠正氏（新中）
佐川潔氏（新民）
比佐昌平氏（前民）

は過般の町會において決定圓を以て昭和五年度まで建築することになり敷地は平

暫らく紛議中であつた平町の第三小學校建築について

は過般の町會において決定圓を以て昭和五年度まで建築することになり敷地は平

市部には比佐、佐川の強敵を控へてゐるから氣を緩めたならば思はぬ不覺を取りは勿論である、殊に氏家

氏は多年の緣故を辿つて石城に浸入するから大多數の選舉民を有する石城は一層競争が激烈となるであらう

と山田氏に挾撃されるから競争が激烈となると山田氏も狡猾な心念があればとて氏家氏

松本氏も如何に固き心念があればとて氏家氏

競争は免れない縣下第一の難戦は免れない第三區は斯くて刻々競争が熾烈となつて行く

等各町村などは普選により新有權者の漁夫船員中五種以上に乘込む不在投票の該當者調べを行つてゐるが四倉町では三百八十名の多さに達し石城七濱で約六百名

支那そばや香具師のため

た女兒を生むより早く咽喉部をしめ頭をこづいて半殺しとなし何食はぬ顔をして病兒裝つて診察を求めたが直ちに發見され植田署に引致二日平檢事局から三坂檢事並に遠藤豫審判事が出張死兒を解剖に附した兇行の隣村錦村の寶薬醫師を招き婉したゝめ外聞を恥た結果

原因は娘うめが昨年春頃から隣家の妻も子もある太田三郎と通じ不義の子供を分婉したゝめ外聞を恥た結果である

事並に遠藤豫審判事が出張死兒を解剖に附した児行の隣村錦村の寶薬醫師を招き致二日平檢事局から三坂檢

事並に遠藤豫審判事が出張死兒を解剖に附した児行の隣村錦村の寶薬醫師を招き

た女兒を生むより早く咽喉部をしめ頭をこづいて半殺しとなし何食はぬ顔をして病兒裝つて診察を求めたが直ちに發見され植田署へ轉りを命ぜられた

察署の少壯敏腕を以て知ら

れられた二瓶刑事は四會署へ轉

ります

察署の少壯敏腕を以て知ら

れられた